

■令和2年度 ふるさと観光塾からの新入会員紹介 ■

～ 毎回の受講が楽しい ～

田口 幸三郎

「近江八幡の事を知りたい」当地に居を構え40年を超えていますが全く近江八幡を知りません。もともと、方向音痴と面倒くさがり、旅行はもっぱら人任せ。それでも、せっかく当地に赴いたのだからと、ぼけ予防と、暇つぶしに「ふるさと観光塾」を受講。おどろいたのは、水色の服を着た人たちのお迎えと案内。親切な笑顔とおもてなしに感動して席に着いた。やがて、前を向いていたら、どんどん新しい世界が開かれていく。毎日見過ごす通りや建物、また自然や食べ物に興味注がれていく。そこに、歴史と人の心が映し出されていく。なんと、心地よい時間でしょう。毎回の受講が楽しい。もっと知りたい、もう一度受けたいと思っていたら、閉会式。コロナの感染問題がなければ、江州音頭も懇親会も楽しめたのに、残念！外は雨。ガイドをすることより、ガイドに同行したい。そんな思いでトライアル研修に進みました。



～ 早くガイドに成長したい ～

堀場 康治

以前から近江八幡の歴史、文化、街並みに魅力を感じていたのですが、日頃の生活に終わられて何となく過ごしてきました。定年を迎え、今まで忘れていた近江八幡の歴史、文化、町並みを調べたくなったとき、広報誌で「ふるさと観光塾」を知り研修に申し込みをしました。最初6回の研修と言うことで大変と思っていましたが、各テーマについても深く知りたくなり観光ボランティアガイドに申し込みました。



今回トライアルガイドを実施し、観光ガイドの難しさを実感しているところです。お客様に近江八幡の魅力を感じて頂き、楽しい旅となるように紹介できるよう自己研鑽し、近江八幡の魅力を発信していきたいと思っております。また近江八幡に行きたい、ガイドをお願いしたい、と良い印象を持って頂けるガイドを心がけたいと思っております。自分は、本当に観光ガイドとしてやって行けるか不安もありますが自己研鑽し早く一人前の観光ガイドに成長したく思っています。どうかよろしく願いいたします。

～ ボランティアガイドとしての決意 ～

中村 保

私は近江八幡に住んでから38年程になります。これまで仕事一筋で何も近江八幡の事は解りません。2年程前に仕事をリタイアしまして、ボケ防止・健康の為近江八幡の事をもっと知ろうと「近江八幡ふるさと観光塾」を受講する事になりました。当初は受講のみと考えていましたが講習が終わって、ボランティアガイド様の熱心なガイドぶりを見て、両耳の聞こえが悪く、手が時々コムラガエリになり、物覚えが悪い私でもボランティアガイドが出来るかなと思いつつ、この度、伝統ある近江八幡ボランティアガイド協会に入会させていただく事になりました。自分の言葉で訪れます方に「おもてなし」の心で一人でも多く「いい街ですね」「近江八幡に来て良かった」「ガイドをお願いして良かった」と思われる様な案内を目指し研修を積んでまいりたいと思っていますので、諸先輩の方のようなガイドが出来ますようにご指導の程よろしく願いいたします。



～ 魅力を知ってもらいたい ～

山本 潔

神戸生まれ、大阪・池田育ちで、大学以降は関東に住んでいました。が、終(つい)の棲家は関西と決めて、昨年定年退職を機に近江八幡市多賀町に移り住みました。それまで、近江八幡には来たことがなかったのです。はじめて近江八幡駅に降りて、八幡堀や古い商家の通りに行こうとしたのですが、時間もなく駅からも遠く断念しました。観光地が駅から遠いのに、駅前寂しいのが気になりました。再度訪れた時、八幡堀も、商人屋敷も、ラ・コリーナも、魅力ある場所で驚きました。安土城址も市内だと知りましたが、近江八幡の街も秀次の城下町でした。工学系の専門出版社に勤めていて、日本史に関心を持つ機会がなかったのですが、ここに住むようになって、急に興味がわきました。数多くある史跡に触れては、昔の時代に思いを馳せます。

